

平成22年度各地区協会活動状況報告

関東甲信越地区(筑波大学)

1 会議

(1) 関東甲信越地区国立大学図書館協会総会

平成23年4月20日(水) 当番館：宇都宮大学

- 1) 第58回国立大学図書館協会総会への提出事項等について
 1. 平成23年度地区理事館の選出
 2. 平成23年度監事館の選出
 3. 第58回総会のワークショップで取り扱うテーマについて
 4. 平成22年度地区協会活動状況報告
- 2) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)について
- 3) 「「委員会の設置」について(申し合わせ)」の改正について
- 4) 図書館職員の人事政策課題について

(2) 第43回関東甲信越地区国立大学図書館協会事務(部・課)長会議

平成22年12月3日(金) 当番館：総合研究大学院大学

- 1) 次年度の理事館・監事館の選出について
- 2) 国立大学図書館協会総会、マネジメントセミナー及び館長フォーラムの在り方について
- 3) 各大学の現状(新たな課題・取り組み等)について

2 研修

(1) 第44回(平成22年度)関東甲信越地区国立大学図書館職員研修会

(茨城県図書館協会大学図書館部会との共催)

平成22年12月15日(水) 当番館：筑波大学

参加者：41機関85名

(内、地区加盟館等は14機関46名の参加)

テーマ： 学習支援：2020年これが図書館の生きる道

講演「図書館職員の新たな役割」竹内比呂也(千葉大学文学部教授)

「学習支援と大学図書館」井上真琴(同志社大学企画部企画室企画課長)

パネルディスカッション「図書館が行う学習支援」

コーディネーター：逸村裕(筑波大学教授)

パネリスト：竹内比呂也、井上真琴、三津石知巳(筑波大学学群学生)、熊渕智行(筑波大学附属図書館)

*尚、本研修は国立大学図書館協会地区助成を得て開催した。